

特許出願中

ゼットタップ

アイソメ図自動作成ソフト

Z-TAP

Ver2.0.4.5

アイソメ図の作図は
難しくて
面倒

ケーブルラックの
サイズ検討が
面倒

幹線計算書作成時の
ケーブルの
長さが知りたい

そんな声に応じてアイソメ図を簡単・高速作成!

利用シーン

- ・電力幹線設備の初期検討時(ケーブルラックの必要サイズを自動計算)
- ・フロア間のケーブル貫通サイズやEPSの大きさ検討に活用

Z-TAP 導入のメリット

1 専門知識がなくてもアイソメ図が作成可能

設計や配電の知識がなくても Excel ベースの
幹線計算書からアイソメ図を簡単作成

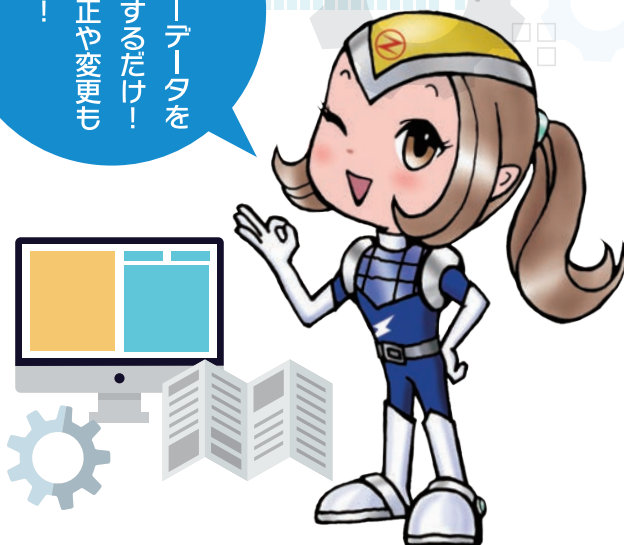
2 ケーブル情報や線名札リストを自動作成

資材調達に必要なケーブル情報や線名札リストを
Excelに簡単出力

3 アイソメ図上での変更を幹線計算書に反映

完成したアイソメ図上での経路設定変更が可能
変更内容は幹線計算書に自動連携

Excelデータを
選び設定するだけ!
後から修正や変更も
可能です!



since 1923



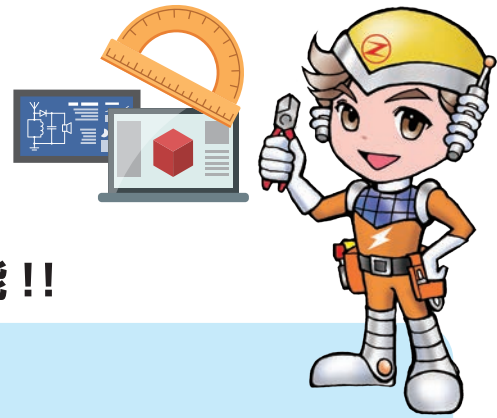
東光電気工事株式会社

東光 ZTAP 検索



Z-TAP

Ver2.0.4.5



アイソメ図自動作成後、各種帳票(Excel)も出力可能!!

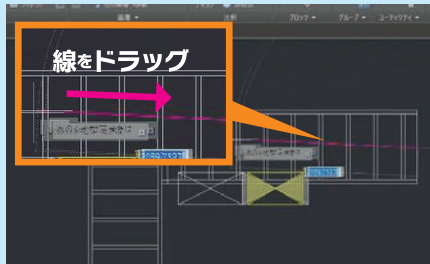
使用データの作成

幹線計算書、配線ルートや盤・通過位置を設定

幹線計算書

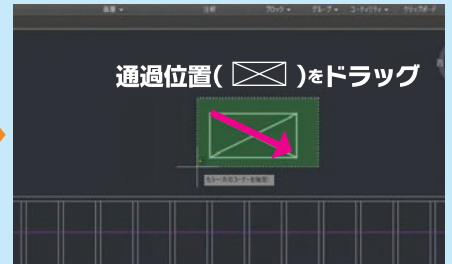
▶Excelベースの幹線計算書を読み込

配線ルート設定



▶配線ルート(赤い線)をドラッグ

盤類の設置場所や通過位置を設定



▶通過位置(EPS)ケーブルラック貫通部を設定

幹線リスト作成・設定

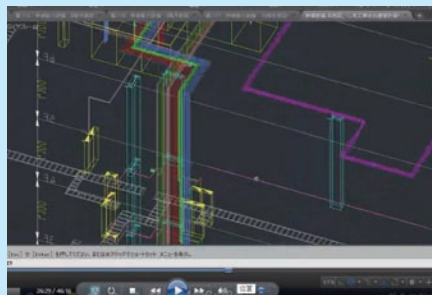
設定した情報からExcelベースの幹線リストを作成

幹線番号	幹線種別	変圧器	電圧	開始盤
M-101	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(1)
M-202	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-203	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-204	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-205	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-206	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-207	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-208	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-209	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-210	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M-211	一般	3φ3W	210	一般動力配電盤(2)
M+01	一般	3φ3W	210	非常保安動力盤
M+04	一般	3φ3W	210	非常保安動力盤
M+05	一般	3φ3W	210	非常保安動力盤
ME-01	一般	3φ3W	210	非常保安動力盤
ME-02	一般	3φ3W	210	非常保安動力盤

▶画面上で設定した情報を反映し、リスト化

アイソメ図作成

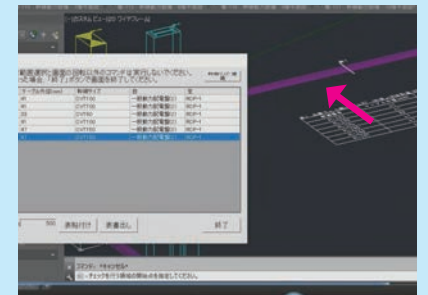
幹線リストからアイソメ図を表示



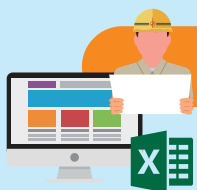
▶ケーブルの太さまで反映し360度回転可能
※ケーブルラックは1段階のみです。

通過経路設定

アイソメ図上で配線を選択しチェック



▶選択したケーブルの太さ、必要なラック幅などを一覧表示



修正結果は幹線計算書に自動フィードバック!

※本ソフトの利用目的は、設計や施工における初期段階に、ケーブルが多数配線される場所の納まり検討ツールとしての活用を想定しています。下記条件のもとに開発していることをご了承願います。

- ・建物規模は10階程度を想定しています。 ・配電盤室(サブ変電室)が複数ある場合は、配電盤室ごとに作成する仕様になっています。
- ・分岐ケーブルについては、垂直方向の幹線ケーブルに対応しています。水平方向の分岐ケーブルには対応していません。
- ・分岐ケーブルの分岐箇所は、各階において指定した高さ(1箇所)のみとなります。
- ・各階におけるケーブル敷設高さは、各階において指定した高さ(1箇所)のみとなります。
- ・自動計算されたケーブル長さについては、実際の曲がり部分や梁下等の余長分を見込んでいません。
- ・バスダクトには対応していません。 ・接地線には対応していません。
- ・ケーブルラックは単体(1段)での配置です。水平部分での異なる高さの複数段配置や垂直部分での前後の複数段配置には対応していません。(アイソメ図は1段でケーブルを作図しますので、作図場所によっては、廊下やEPS等をはみ出している場合があります。)
- ・建築図面データの情報量によっては、データ量が多すぎて正常に動作しない可能性があります。アイソメ図を作成するにあたっては、 unnecessary 建築データを削除することをお勧めしています。

※本ソフトについては、東光電気工事(株)までお問い合わせください。

